

Nexoのバス停で見た朝日

12月にしたこと

学校での制作は個人制作がメインになり、生徒同士で進捗を話したり担当教授からガイダンスを受けるなどを経てプロジェクトの最終形態に向けての制作に取り掛かった。

クリスマス休暇では島を出てコペンハーゲンに行き、クリスマスの雰囲気を感じつつ気になっていた美術館や教会、お店などを巡った。

- 12/1~ 個人制作
- 12/20~ クリスマス休暇
コペンハーゲン、ボーンホルムで過ごす
- 12/31~ 年越しパーティー



持ち寄りパーティー



街 Nexo のガラスと陶器のお店



コペンハーゲン

大学での活動

◎個人制作を進める

ボーンホルム島にある Campus Bornholm という大学に設置する想定のおーナメントの制作のため、10月後半から調査や試作をしてきた。1月の最終提出に向けて12月から個人制作に入り、私は釉薬のテストとのおーナメントの小ピースの試作に取り掛かった。月末には自身のプロジェクトについてまとめた英語のレポート提出に追われる。

今まで器をメインに作っていたため、慣れないおーナメントという課題に悩まされたが、釉薬テストや小ピースの試作を経て、少しずつ頭の中のイメージが形になっていく感覚があった。



◎今までの取り組み



Photoshop で貼り付け、全体のバランスをみる



紙で色の確認

プロジェクトの概要

Campus Bornholm のどこか特定の場所を選び、建物やその場所の歴史、自身の考えなどを反映させ、その場所にふさわしい空間作品を制作・提案する。

私は最上階の自然光がよく入る窓際を選び、そこに人が心地よいと感じる木の葉を通した光、木漏れ日を連想させるオブジェを作ろうと試みた。

配置や色は左の写真のように Photoshop で配置してみたり、自身で色を塗った紙をちぎって貼り合わせるなど、土での成形に取り組む前に様々な方法での可視化に取り組んだ。

◎1回目の試作が焼き上がる



焼成後



成形

クリスマス休暇に入る前に1回目の試作が焼き上がった。土の板をランダムに砕いていき、この島で見つけた模様や記憶を掘り込んでいく。釉薬のテストの中から選んだ釉薬を数種類使い、深い色の組み合わせを目指し重ねて焼成する。

焼き上がりの質感、色味はとてもいい感じだったが、壁掛けとして扱うにはそれぞれのピースの繋がりや危うさに悩む。

クリスマス休暇

Copenhagen



グルントヴィークス教会

Bornholm



教会で讃美歌を聞いた後の帰り道



12/24 Nexø 教会

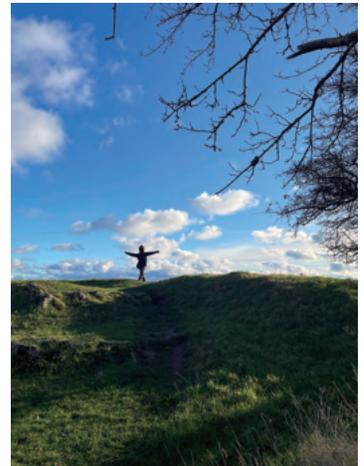
12/24~26 はほとんどのお店や美術館が閉まってしまうため、その間は教会に行ったり散歩をして過ごした。CPH では古本屋巡りをした。



コペンハーゲンの古本屋さん



ラウンドタワー



Nexø→Svaneke 徒歩3時間

年越しパーティー



12/31 の夜には年越しパーティーがシェアハウスをしている友人の所で開かれ、皆で食事をしたりゲームをして過ごした。年越し直前にはデンマークで年を越すときに食べるケーキ Kransekage クランセケーキに花火を灯し皆でジャンプをして新年を迎えた。外に出ると島のあちこちで花火が上がって布団に入った午前3時でも遠くで鳴り響いていた。



今回の持ち寄りパーティーでは餃子を皮から作り、中は様々な野菜を入れてベジタリアン餃子にした。大人数が集まるパーティーというものが元々あまり得意ではなかったが、皆とても素敵な方たちで全力で楽しんでいる中に混ぜてもらい、自分もいつの間にか楽しんでいることに気づく。忘れられない年越しになった。